

# チー ム 登 録 規 程

第1条 本会の加盟チームは、第2条に定めるいずれかの種別によって編成されたチームでなければならない。

第2条 登録の種別は次の各号のとおりとする。

(競技種別)

1. クラブ男子チーム

同一都道府県内に居住又は勤務（通学）する18歳以上（当該年度4月1日現在）の男子によって編成されたチームとする。

（ただし、実業団チームと見間違ふような名称を使用してはならない。）

2. クラブ女子チーム

同一都道府県内に居住又は勤務（通学）する18歳以上（当該年度4月1日現在）の女子によって編成されたチームとする。

（ただし、実業団チームと見間違ふような名称を使用してはならない。）

3. 実業団男子チーム

同一都道府県内における官公庁、会社、病院、商店等、同一企業（関連企業を含む）に勤務する男子のみによって編成されたチームとする。

4. 実業団女子チーム

同一都道府県内における官公庁、会社、病院、商店等、同一企業（関連企業を含む）に勤務する女子のみによって編成されたチームとする。

(学生種別)

5. 大学男子チーム

同一都道府県内の同一大学に在学する男子学生によって編成されたチームとする。

6. 大学女子チーム

同一都道府県内の同一大学に在学する女子学生によって編成されたチームとする。

7. 高等学校男子チーム

同一都道府県内の同一高等学校に在学する男子生徒によって編成されたチームとする。（全日制と定時制、通信制は別校とする。）

8. 高等学校女子チーム

同一都道府県内の同一高等学校に在学する女子生徒によって編成されたチームとする。（全日制と定時制、通信制は別校とする。）

(生涯種別)

9. 中学生男子チーム

同一都道府県内に居住又は在学する男子中学生によって編成されたチームとする。

10. 中学生女子チーム

同一都道府県内に居住又は在学する女子中学生によって編成されたチームとする。

11. 小学生男子チーム

同一都道府県内に居住又は在学する小学生によって編成されたチームとする。女子の選手の登録も可能だが、女子選手のみ登録は認めない。（小学生男子の全国大会では常時3名以内の女子選手の試合出場を認める。）

12. 小学生女子チーム  
同一都道府県内に居住又は在学する小学生女子によって編成されたチームとする。
13. エルデストチーム  
同一都道府県内に居住又は勤務する50歳以上（当該年度4月1日現在）の女子によって編成されたチームとする。
14. エルダーチーム  
同一都道府県内に居住又は勤務する35歳以上（当該年度4月1日現在）の女子によって編成されたチームとする。
15. レディースチーム  
同一都道府県内に居住又は勤務（通学）する15歳以上（当該年度4月1日現在）の女子によって編成されたチームとする。なお、第2条8の高等学校女子チームに選手登録をしている者は除く。
16. 壮年チーム  
同一都道府県内に居住又は勤務する40歳以上（当該年度4月1日現在）の男子によって編成されたチームとする。
17. 実年チーム  
同一都道府県内に居住又は勤務する50歳以上（当該年度4月1日現在）の男子によって編成されたチームとする。
18. シニアチーム  
同一都道府県内に居住又は勤務する59歳以上（当該年度4月1日現在）の男子によって編成されたチームとする。
19. ハイシニアチーム  
同一都道府県内に居住又は勤務する68歳以上（当該年度4月1日現在）の男子によって編成されたチームとする。
20. 一般男子チーム  
同一都道府県内に居住又は勤務（通学）する15歳以上（当該年度4月1日現在）の男子によって編成されたチームとする。なお、第2条7の高等学校男子チームに選手登録をしている者は除く。
21. 教員チーム  
同一都道府県内に勤務する男子教員によって編成されたチームとする。  
（学校教育法第1条に規定する学校の教員とする。ただし、実習助手は認める。）

第3条 登録は99名以内とし、ユニフォームナンバーは1番～99番までとする。  
ただし、主将は10番、監督30番、コーチ31番・32番とし、監督・コーチが選手を兼ねる場合はそれぞれ監督・コーチのユニフォームナンバーで登録する。なお、選手、監督、コーチの登録には次の規制を設ける。

1. 競技種別・学生種別の選手の登録については1人1チームとし、二重登録を認めない。
2. 競技種別・学生種別の監督・コーチの登録については1人1チームとし、二重登録を認めない。ただし、学生種別に限り、同一校内の監督、コーチを兼ねることができる。
3. 競技種別・学生種別の監督・コーチ・選手は自分のチームを除き種別の違う1チームに限り、立場をかえて登録することができる。  
ただし、学生種別において、同一校内の監督、コーチを兼ねて登録している場合、この規定は適用しない。

4. 生涯種別の選手の登録については生涯種別内であれば複数のチームに登録することができる。ただし、同一チーム種別内での二重登録は認めない。
5. 生涯種別の監督・コーチの登録については生涯種別内であれば複数のチームに登録することができる。ただし、同一チーム種別内での二重登録は認めない。
6. 生涯種別の監督・コーチ・選手が立場をかえて種別の違うチームに登録する場合は、3項の規定を優先する。
7. 監督・コーチの登録については、すべての種別のチームで規定する居住・勤務（通学）、年齢、性別の規制は受けない。
8. 監督を欠いて試合を行うことはできない。  
もし、監督が事故等で出場できない場合は、その試合の登録者の中から監督代理者を選ばなければならない（この場合、監督代理者のユニフォームナンバーはそのままよい）高校のチームでは、監督代理者は当該校のチーム引率教員が当たる。中学生・小学生のチームでは、監督代理者は当該チームのコーチ又は引率責任者が当たる。

第4条 登録チームは登録料を負担する。登録料は別に定める。

第5条 チームの登録は、その年度毎に行うものとする。（6月30日を最終期限）。新規登録はその年度内認められる。いずれも、全国大会支部予選までに登録を完了していないチームは、その全国大会に出場することができない。  
なお、登録は、当協会の登録システムによるか、本協会発行の登録用紙に記入の上、A・B・C・D表を所属支部長に提出する。支部長は登録を確認し、A表を日本協会に、B・C表を支部に、D表はチームが保管する。  
支部に追加登録のあった場合も上記の通りとする。なお、小学生・中学生・高等学校・大学に限り、年度始めの登録とは別に、8月21日から9月30日までにチームの選手登録の変更を認める。

第6条 支部は登録されたチームに変更のあった場合、及び取り消した場合は、直ちにその内容を本協会に届け出なければならない。  
登録されたチームの選手は、その年度内他のチームに登録することができない。  
もし選手が移籍した場合には、その選手は当該年度内のすべての支部、地区、及び本大会への出場権を喪失する。  
登録されたチームの監督・コーチについては変更することができる。

第7条 登録を完了しないチーム及び選手は、本協会主催のすべての大会に参加できない。ただし、国体については本規程は適用せず、「国体実施要項」の定めるところによる。

（付則）

1. 登録完了とは、チームの登録申請が各支部に到達し、県協会が承認し、チームからの登録料等が納入された時をいう。

#### 改訂履歴

平成17年	5月29日	一部改正	
平成17年	11月23日	一部改正	
平成18年	5月17日	一部改正	
平成18年	11月23日	一部改正	
平成19年	11月23日	一部改正	
平成21年	1月31日	一部改正	
平成26年	1月25日	一部改正	
平成28年	11月20日	一部改正	(日ソ協会変更日)
平成30年	2月 1日	一部改正	
平成31年	2月 1日	一部改正	
令和 3年	1月30日	一部改正	
令和 4年	1月29日	一部改正	
令和 5年	1月28日	一部改正	